

こども

福祉

安全

未来へ

本のみち

人材の活用

施策1 “子育てしやすいまち”へ

選ばれています

子どものために、子どもに寄り添うサポートを

経済的負担の大幅な軽減は、子育て世代の人口増加、さらには子どもの数の増加につながっています。また、こども医療費の無料化や教育環境の充実など子どもに寄り添い、子どもの立場で成長をサポートしていきます。

経済的負担の軽減

人口・出生数の増加

環境の整備・充実

子どもたちの成長をサポート

どちらも重要ね

全国トップクラスの安心感

所得制限なし

中学生までのこども医療費の無料化

平成25年7月から実施している中学3年生までのこども医療費無料化。制度開始を転機として市の人口が増加するなど、子育て世代の転入増につながる市の大きな魅力となっています。

所得制限なし

第2子以降の保育料を完全無料化

明石市は、保育所や幼稚園などに通う第2子以降の保育料が、年齢制限や所得制限なく無料です。経済的な理由から理想とする数の子どもを持たない夫婦が多いなか、第2子以降にかかる経済的負担の大幅な軽減は、出生数の増加につながっています。

病院代 薬代
市外の病院も無料!

■児童福祉課 (TEL)918-5027 (FAX)918-5196

保育所・幼稚園 市外の施設もOK
兄弟の年齢も関係なし!
親の収入も関係なし!

■こども育成室 (TEL)918-5093 (FAX)918-5650

休みの日は市内で楽しく

公共施設の入場料無料化

子どもたちがのびのびと楽しく過ごせるように、公共施設の入場料を無料にしています。今年オープンした親子交流スペース「ハレハレ」も、市民なら無料で利用できます。

親子交流スペース「ハレハレ」

市内在住小学生以下の子どもと保護者

天文科学館



市内外問わず高校生まで(観覧料)

文化博物館



市内外問わず中学生まで

明石海浜プール



市内在住・在学小学生まで

安心して子育てができます



今2人目を妊娠中で、今後仕事復帰を考えると2人目以降の保育料無料はとてもありがたいです。

たぶち 田淵 絵里香さん
えりか 聖子さん
りょうや 良弥ちゃん

兵庫県に転勤となり、住む場所を考えていた時、主人の職場の人に「子育てだったら明石がいいよ」と言われ決めました。

くろやなぎ 黒柳 せい子 聖子さん
さくらちゃん

いっしょに楽しんで、学んでほしいから無料に!



未来を担う子どもを安心して産み、育てられるよう、子育て世帯の負担の軽減や子どもの育ちと学びをしっかりサポートしています。



すべての子どもたちにあたたかい給食を 中学校給食 来年4月全校実施



明石のおいしい給食を中学校でも

現在、モデル校で実施している中学校給食は、平成30年4月に明石市内の全中学校で実施予定です。

食の安全・安心やアレルギー対応はもちろん、食育や地産地消の推進もしっかり行い、すべての子どもたちに心のこもったあたたかい給食を届けていきます。

■学事給食課 (TEL)918-5056 (FAX)918-5177

安全・安心

食育

地産地消



先生との距離がぐっと近く

県内初

小学1年生で1クラス30人以下

小学校での大切な第1歩でつまづかないよう、小学1年生で1クラス30人以下の少人数学級を実施しています。



■学校教育課 (TEL)918-5055 (FAX)918-5111

先生との距離が近くなり、それぞれの個性や、能力に応じた、きめ細かな指導や支援が受けられます。

待機児童解消へ全力で 保育所受入枠

最大増

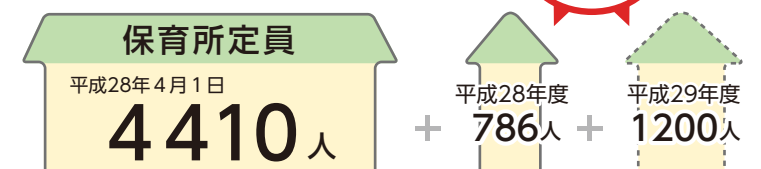
2年で2000人拡大

保育所の受入枠を、平成28年度から2年間で全体の約4割にあたる2000人分拡充しています。また、枠を広げるだけでなく良好で質の高い保育を行うため、保育士の確保にも力を入れ、子どもたちの成長を応援しています。



すべての子どもたちに 良質な保育環境を

県内最大増



※平成29年度は最大入所者数の見込み

■待機児童緊急対策室 (TEL)918-5267 (FAX)918-5163

健康と学力向上のために

小・中学校へのエアコン設置

平成28年度にすべての市立中学校の普通教室にエアコンを設置しました。引き続き、平成29年度から2年間ですべての市立小学校の普通教室にも設置を進めます。

■学校管理課 (TEL)918-5197 (FAX)918-5111

地域も見守っています

長年、子どもの見守り活動をしてきましたが、ここ数年は特に子どもの数が増えていると感じます。子どもたちの元気な声に、私たちが元気をもらっています。

子どもたちから元気をもらっています



大久保小学校区で子どもの見守りを続ける皆さん

こども

福祉

安全

未来へ

本のみち

人材の活用